



Telecom World 2016 報告

日本 ITU 協会 専務理事 **たなか かずひこ**
田中 和彦



セレモニー開始前の会場（中央が王女席）

1. 2013年に続きバンコクで開催

Telecom World 2016は、2016年11月14日から17日までの4日間、タイのバンコクで開催された。バンコクでの開催は、2013年に続き2回目である。

オープニングセレモニーは昨年10月に亡くなったプミポン国王の次女シリントーン王女の臨席をいただき、首相が王女に開催を申し上げ、王女が開催を宣言するという形式で行われた。喪章をつけた参加者も多く、会場は前国王、王室への哀悼と敬愛の念に満ちていた。

今回は主催者によれば173名（56か国）による講演、8,800名参加とのことで、3年前開催時の参加者6,000名に比べ大幅な増加となった。

2. 産業界リーダー、閣僚級ラウンドテーブル

産業界リーダーによるラウンドテーブル、また、各国の大臣級閣僚によるラウンドテーブルで活発な意見表明、議論が行われた。

もっとも多く聞かれたのは「2020年までにインターネットの普及100%を目指す」「ICTの活用によってデジタル経済を発展させる」といういわば決意表明であった。



バングラデシュ郵政通信情報大臣



鈴木茂樹総務審議官

鈴木茂樹総務審議官は「要点は3点。海外投資を含むアクセス網の充実に取り組む、IoT・ビッグデータ活用などのイノベーションに注力する、自由な情報流通が重要でありセキュリティ確保も課題である」と発言した。

3. ジャパンセッション

総務省主催のジャパンセッションでは、個別のセッションにも関わらずジャオITU事務総局長が出席し「インフラや応用の進んでいる日本はアフリカなどの国々のいわば未来だ」と発言した。

鈴木茂樹総務審議官の挨拶、各社紹介に続き、情報通信研究機構（NICT）、IIJ、NTTコミュニケーションズ、日本電池再生、Nextechが、各社のサービス状況などをプレ



ジャオITU事務総局長



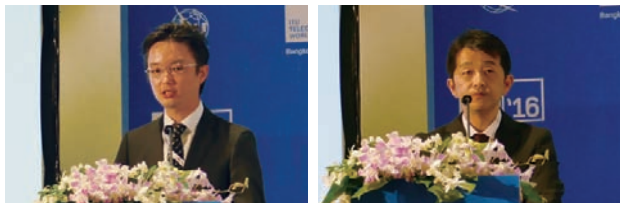
タイ副首相兼デジタル経済社会大臣



NICT富田理事



IIJ中村グローバル事業本部副部長



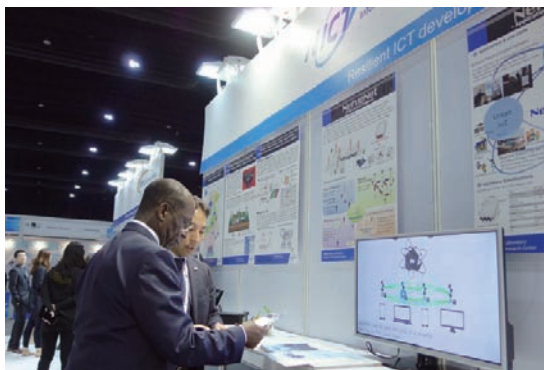
NTTコミュニケーションズ木村次長 日本電池再生川邊社長

ゼンテーションした。会場の参加者はしきりにうなずきながらスライドを写真に撮るなど、好反応であった。

4. 日本パビリオン

日本パビリオンでは、NICT、IIJ、NTTコミュニケーションズ、日本電池再生、Nextech、SAMRT INNOVATIONの6社が展示を行った。日本パビリオンでは、各社の製品、サービスが具体的に展示されていることもあり、連日多くの見学者が訪れ、熱心に質問する姿が見られた。各社展示に加え、日本のユニークな技術、例えば「ネコ耳」は来場者の高い関心を集めていた。

また、今回もサヌー ITU-D局長が、パビリオンを個別に



情報通信研究機構 (NICT)



IIJ



NTTコミュニケーションズ



日本電池再生



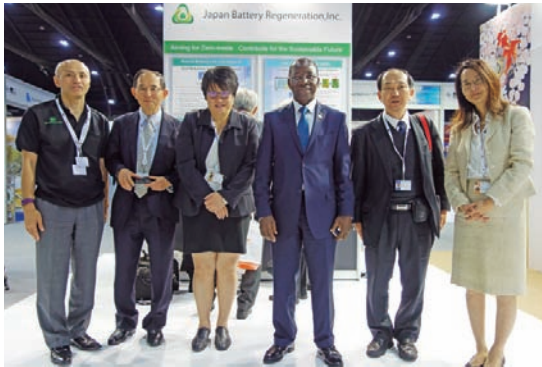
Nextech



SMART INNOVATION



ネコ耳を自撮り



サヌー ITU-D局長を囲んで

訪問し見学された。旧知の関係者が取り囲み、親しく会話するなど大変に有意義であった。

5. 各国展示

各国による展示が行われたが、開催国タイ、また、中国の展示が目立った。

中国パビリオンでは、同国内通信事業者、インフラ・通



タイ王室パビリオン



タイ国家放送通信委員会パビリオン



中国パビリオン



中国長城工業総公司
(中国航天科技集团公司)

信機器ベンダだけでなく、宇宙関連企業がロケットの模型を展示するなど、総合的な技術力を示そうとしていた。

6. 各社展示

主催国タイの通信事業者、また、中国のHUAWEIの展示が目立った。

HUAWEIは、展示だけでなく、昼食会を主催し、国際広報会社社長が挨拶やセッションに登壇などを行い、また、ロゴが会場で多く見られるなど、積極的な姿勢が見られた。



TOT



true



HUAWEI

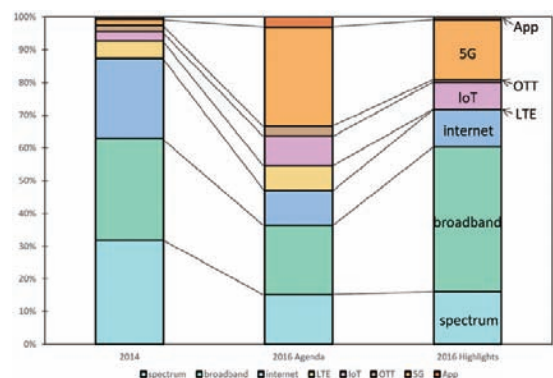


HUAWEI国際広報会社社長

7. フォーラムセッション

フォーラムでは多くのセッションで幅広い議論が行われたので、全体を一言で語るのには難しいが、2年前と今回のセッション紹介、日々のハイライトに出現したキーワードを比較してみた。

感覚的にも一致するが、今回は「ブロードバンド」「5G」「IoT」が目立っていた。「OTT」「App」はあまり話題になっていないが、これは一般化し興味の対象になっていないためと思われる。

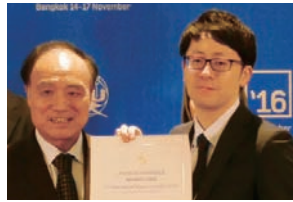


キーワード推移



8. クロージングセレモニー

2011年に開始されたITUテレコムワールドヤングイノベーター賞に代わるITUテレコムワールド賞の表彰が行われ、日本からはNextechが各国賞を受賞し、ジャオITU事務総局長より賞状が授与された。受賞、誠にありがとうございます。



Nextech高橋製品事業部員(右)

されている。

振り返れば、前述のとおり、ジャパンセッションでのジャオITU事務総局長の「日本はアフリカなどの国々の未来だ」との発言はもっともだと思われる。

日本では、既にブロードバンドの普及、デジタル放送の実施、高速モバイルサービスの導入などが完了しており、設備共有や民営化なども実施済みで、これらを通じて得た経験、知見は世界の多くの国々にとって役立ち得るのではないかと考える。

9. 所感・感想

個人的な感想は以下である。

- (1) 全体的には、やはりConnect 2020の実現に向けたインターネット、特にブロードバンドの実現が引き続き途上国での課題になっている。
- (2) 固定回線に加え、5Gによるモバイルブロードバンドが大きな関心を集めている。
- (3) インフラの整備が不十分な国、地域でも、セキュリティやプライバシーへの懸念、また、活用による経済活性化への期待などは先進国と同様である。
- (4) コスト削減のために、設備共用、民営化の議論がな

10. 次回は韓国プサンで開催

次回は本年9月25日(月)～28日(木)に韓国プサンで開催予定である。2014年の全権委員会議(PP-14)に引き続き韓国プサンでの開催だが、世界への情報発信の場として、また、動向把握・情報収集のために、ご活用いただき、より多くの皆様に参加していただける事を祈念しております。

Telecom World 2016については、当協会HPでもレポートしています。全天球写真・パノラマ写真も、併せて、是非、ご覧下さい。

<http://www.ituaj.jp>

コラム

世界中の参加者が驚いた日本の最先端技術

期間中、会場で「スゴイ、こんな技術が見たかった!」と言われました。それはリコー社THETA Sで撮影した全天球写真を手元のiPodでその場で見せた時でした。旧知のITUの撮影チームメンバは「去年、ブダペストでこれ見せてくれたよね。買ったよ、スゴく良い!」、画像認識技術のSMEの社員は「私も持ってるわ、良いわよね、これ!」でした。自分の席からパナソニックのデジカメをWi-Fi接続し一脚で上方に掲げて撮影しましたが、この方法もかなり驚かれました。日本はインフラやサービスだけでなく最先端の技術が一般化しているという印象を持ってもらえたと思います。



前ITU事務総局長トゥーレ氏を囲んで(全天球写真からトリミング)